



じ ぶん み じ ぶん まも 自分の身は自分で守る

あん ぜん ひ なん 安全に避難するために！ その1

ふか ある
深いところは歩かないようにしましょう。

ある ふか あし ふか
歩ける深さは足のひざくらいの深さです。

ふか き けん
それより深いところは危険です。

はや あさ
ながれが速いところは、ひざより浅くても

ある き けん
歩きにくくなり、とても危険です。

みず なか ある
水の中を歩くときは、つえやぼうなどを

も ある
持って歩きましょう。

みず なか なに
水の中には何があるかわかりません。

かく にん ある い
つえなどで確認しながら歩いて行きましょう。



しゃ どう とお
車道は通らないようにしましょう。

あな あ
マンホールなどの穴が開いていて、

き けん ば しゃ
危険な場所があります。

すこ たか みち ひ なん
少しでも高い道をえらんで避難しましょう。



自分の身は自分で守る

安全に避難するために！ その2



避難するときは運動靴で！

長ぐつは、深いところに行くと、
中に水が入ってきて歩けなくなります。
にげるときは、運動靴でにげましょう。
裸足はあぶないのでやめましょう！



必ず2人以上で避難しましょう。

子供やお年寄り、大人と離れないように
ロープなどで体をつないで避難しましょう。
近くに、お年寄りなどが住んでいる場合は、
避難するときに声をかけてあげましょう。
一緒に避難をしてあげると良いでしょう。



水害から身を守るためには
正しい情報と早めの避難が大切です。



じぶん ぶん み じぶん ぶん まも 自分の身は自分で守る

かぞく ひなん 家族で避難について はな 話しあおう！

いつも、かぞく ひなん について はな 話しあっておくと、
イザというとき スムーズに ひなん 避難ができます。



あぶない場所や道などをぼうさい 防災マップでかくにん 確認しておきましょう。

まち ひなん ばしょ あらわ かんばん すいがい
町のなかにある避難場所を表した看板や水害
のとき つ ふか あらわ かんばん かくにん
の時に浸かった深さを表した看板を確認して
おくとき ひなん 避難の時にスムーズに避難をすることが
できます。